

井の頭恩賜公園花便り



キブシ(キブシ科)



アセビ(ツツジ科)

山地・丘陵地のやや湿った沢沿いに生育し、根元からよく分岐する樹形で、春に小さな釣り鐘型の花が穂状に多数垂れ下がります。葉は対生し、サクラの葉に似ており葉の先端がやや長くなります。名前の由来は、果実に含まれるタンニンが昔の女性がお歯黒に使用する五倍子（ふし）の代用にした為といわれています。

本州・四国及び九州に分布する日本特産の常緑低木で、乾燥した林地などに群生します。自生するアセビは白色で、ドウダンツツジに似た壺型の直径6～8ミリほどの花が枝先から多数垂れ下がるように咲きます。株全体に他の動植物を寄せ付けない成分があるため、シカなどの動物がアセビを避けた結果、アセビの名所として知られた観光地もあります。



花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所 0422-47-6900までご連絡ください。